

## ISP各社に先駆けて、URLフィルタリングの商用サービスを提供。

日本テレコム株式会社が運営するインターネット接続サービス「ODN」では、2003年よりURLフィルタリングの商用サービスを提供。数万人規模の利用者数を誇っている。そのサービスを支えるのがInterSafeだ。

### 日本テレコム株式会社 ODN様



日本テレコム株式会社  
インターネット・データ事業本部  
コンシューマODN担当  
本多 恵様



日本テレコム株式会社  
情報システム本部  
ODNシステム開発担当  
マネジャー 木村健一様



## INTERSAFE CASE STUDY



### 有害サイトの社会問題化で高まるURLフィルタリングニーズを先取り

近年、インターネットの有害情報を巡る話題が連日マスコミに登場。これをうけて、東京都でもURLフィルタリングサービスの積極的な提供をISP各社に呼びかけている。こうした社会的なニーズを先取りするものとして、各方面の注目を集めているのが、日本テレコム株式会社の運営するインターネット接続サービス「ODN」のオプションサービス「Webフィルタ」だ。同サービスでは、ウイルスチェック機能とURLフィルタリングが組み合わされて提供されており、そのフィルタリング機能をInterSafeが担っている。

そもそもODNが商用サービスとしてURLフィルタリングを提供するに至ったきっかけは、同社の営業サイドから伝えられたお客様からの要望だったという。

「当時はISP他社によるコンシューマ向け商用フィルタリングサービスの提供例はなかったのですが、大手ISPであるODNとしてはお客様のニーズに積極的に応えて行きましょと始めました」（インターネット・データ事業本部コンシューマODN担当 本多 恵氏）

### 5製品の中から精度と速度、拡張性に優れたInterSafeを採用

URLフィルタリングには、大きく分けて2つの方式がある。ひとつはフィルタリング専用のサーバを設置して集中処理するゲートウェイ型で、もう一つはユーザー側の個々のパソコンにソフトウェアをインストールするクライアント型だ。ODNではサービス提供に際して、InterSafeを含むこれら各方式のフィルタリングソフトウェア5製品を比較検討している。

「クライアント型の製品は自由度が高い利点もあるのですが、お客様自身でいろいろ設定をやっ

ていただかなければならず、サポートが大変なので今回は選択対象から除外しました。また、ゲートウェイ型の製品でも、導入を検討した時点では負荷分散でキャッシュ体型というものが多かったのですが、これだとシステムの拡張性に難があるので、ICAPに対応※したInterSafeに当初から注目していた次第です」（ODNシステム開発担当マネジャー 木村健一氏）

お客様側の負担軽減とシステム構築の柔軟性から有力候補として絞り込まれたInterSafeだが、最終的にODNをInterSafeの採用へと踏み切らせた大きな要素は、なんといってもURLデータベースの精度とパフォーマンスだ。

「海外の大手ベンダの製品はURLデータベースの収録総数自体は多いものの、日本語サイトのURL数だけで見るとInterSafeのほうが多い。フィルタリングの精度はURLデータベースに依存しますから、日本語サイトに特化して精度の高いInterSafeは、営業サイドの要請にも合致して優位は決定的でした。それに、InterSafeは秒間あたりのパフォーマンスでも他製品より優れていました」

※ ICAP (Internet Content Adaptation Protocol) : 1999年にiCAP Forumから発表されたプロトコル。コンテンツのキャッシングや変換、フィルタリングなど、さまざまなサービスの結合が可能となる



会員向けサイト「ODN Cafe」でフィルタリングの活用を呼びかけている  
<http://www.odn.ne.jp/odn-cafe/>

「フィルタリングはISPとしてあたりまえのサービスになりつつあります」と語る本多氏





## 導入の検討からサービスのリリースまでを約半年でクリア

商用サービスとして導入するに際しては、リリースまでのリードタイム短縮は重要な課題だ。ODNではフィルタリング導入の検討からサービスリリースまでを約半年でこなしている。

導入作業の過程は、まず機能試験を社内に構築した検証用のアクセス環境で1ヵ月ほど実施。その後、実トラフィックに晒したときにシステムがどのような挙動を示すかを実験サービスで検証。最終的に商用サービスへと移行している。

「サービスメニューとしての『Web フィルタ』は、フィルタリング以外にもプロキシなどいろいろな機能を合体させたサービスなので、全体としてはいろいろ苦労したところもありますが、InterSafeの部分については苦労なく済みました。通常、言われていたような性能は出ないものですが、InterSafeは特に何も苦労せずに予定通りのパフォーマンスが出ました」(木村氏)

## 利用者総数はいまや業界トップクラスの数万人規模

この「Web フィルタ」では、薬物、反社会的、アダルト、ハッカー、出会い、プロキシ・キャッシュ、アブノーマル、カルト、クラッキングといったカテゴリを用意している。カテゴリ設定についてのポリシーは明快で「ODNのお客様はファミリー層が中心ですので、子どもには見せたくないものという基準でカテゴリを作っています。」(本多氏)とのことだ。

カテゴリとともに利用設定も非常にシンプルで、開通通知のメールを受け取った利用希望者はマ

ニユアルの説明に従ってプロキシの設定をするだけとなっている。こうした敷居の低さも利用者拡大に有利に働いているようだ。

コンシューマ部門のODNがおもにファミリー向けにサービスを展開していることもあり、URL フィルタリングに対する会員の関心は高く、同サービスの開始以来、利用申込み者数は前月比2%前後のペースで増加。業界でも突出した数万人クラスの利用者数を誇っている。

また、ODNでは法人向けのビジネスも展開しており、コンシューマ向けと同様に InterSafe によるフィルタリングサービスを提供している。

## 安全で快適なインターネット環境で顧客満足度を向上

有害サイトやウイルスが社会問題化している昨今、インターネット利用の安全性を高める高品質のフィルタリングサービスの提供は、他社サービスとの差別化に大きく貢献する。ODNでは「Web フィルタ」の認知度を高め、利用者数をさらに拡大するべく、メールマガジンや顧客向けコンテンツページ「ODN Cafe」で積極的にプロモーション活動を行っている。

「インターネットは便利であるため、お子様でも様々な情報に簡単にアクセスすることができてしまいます。子どもさんのネット利用を放任せず、ODNのフィルタリングサービスを活用して、安全で快適なインターネットの世界を楽しんでいただきたいと思います」(本多氏)

同社では引き続きさまざまなサービスを複合的に組み合わせたパッケージサービスやキャンペーンを通して、更なる顧客満足度の向上とシェア拡大を目指している。



「InterSafeの導入は楽でした。安産型ですね」と語る木村氏

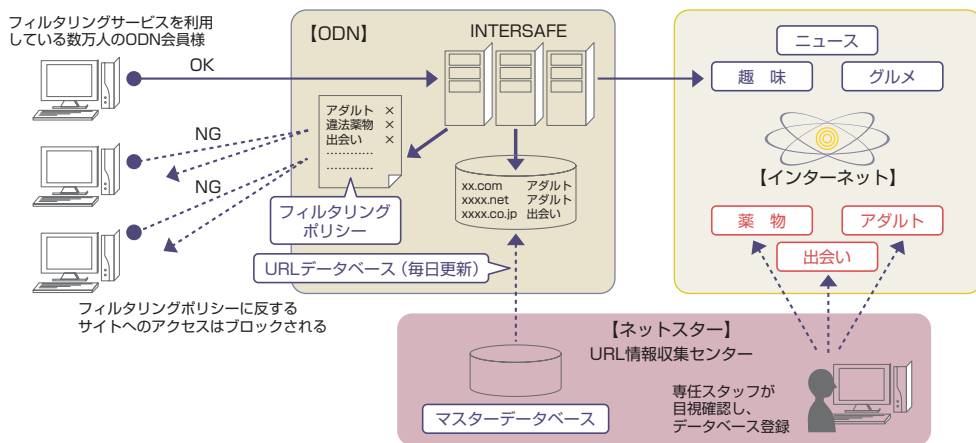
## 日本テレコム株式会社について



モバイル&デジタルによる完全フリーアドレス制のオフィス(本社)  
<http://www.odn.ne.jp/>

1984年に設立。固定通信事業のイノベーターとして事業を展開しつつ、ネットワーク社会の進展に対応して「ライフスタイル」「ワークスタイル」「ビジネスモデル」という3つのキーワードを切り口に事業を拡大。ネットワーク時代を牽引するキープレイヤーとして、企業向け、個人向けにさまざまなコミュニケーションサービスを提供している。2004年よりソフトバンクグループへ。

### ■フィルタリングサービスのシステム概念図



フィルタリングエンジンおよびURLデータベース提供

**NetSTAR** ネットスター株式会社  
●詳しい情報は <http://netstar.jp>

**ALSI** アルシシステムインテリジェーション株式会社  
〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町1-7  
TEL03-5499-1331 FAX03-3726-7050  
●詳しい情報は <http://www.alsi.co.jp/>

■お問い合わせ先